

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第3回おいらせ町地域公共交通会議	
日 時	令和6年1月29日（月曜日） 13時30分から14時40分まで	
場 所	おいらせ町役場本庁舎2階201会議室	
会議公開	<input checked="" type="checkbox"/> 全部公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 全部非公開 ※非公開理由 ()	
出席者等	委 員	【出席者】（9人） 会 長 等：小向 仁生 副会長等：藤ヶ森 利昭 委 員：佐藤 美仁、田中 博、谷川 義弘、鈴木 良一、山村 雅文、加藤 英子、田中 俊行 【欠席者】（1人） 委 員：木村 昌子
	事務局	課長 柏崎 勝徳、課長補佐 川原真栄子、主幹 田中 繁幸
	オブザーバー	なし
傍聴者数	0名	

議題等 会長あいさつ <ul style="list-style-type: none"> ・年始のお忙しいところ、参集いただきありがとうございます。 ・日頃からの交通政策へのそれぞれのお立場からのご支援ご協力に感謝いたします。 ・年初から能登半島の地震が発生し、石川県を中心に大変な思いをされているが、当地域は昨年からの台風が目立った通過もなく、今シーズンの降雪もそれほど多くなく、除雪作業に

係る費用も少なく助かっている。

・ここ最近、地球全体が異常気象となっており心配しているが、今年1年が大過なく無事過ごせることを期待している。

・本日の案件は、国の地域内フィーダー補助金に関わる令和5年度の事業計画の事業評価と町民バスの運行見直しに関わる令和6年度の事業計画の変更を提案させていただいている。慎重審議をお願いしたい。

議題等 議事案件

1) 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（自己評価）について

⇒本資料 P4 から P5 までにおいて、町民バス及びおいらバスの運行状況を報告したうえで、地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について、事務局より説明がされた。

《協議結果》

原案のとおり承認決定した。

発言者	発言内容
藤ヶ森副会長	おいらバスの運賃設定の考え方、特に収支状況をどのように想定して1回500円と設定しているのか。
事務局（柏崎課長）	資料中の運行収支をご覧いただければ分かるように、経常経費から経常収益を差し引くとマイナスであるため、収支は赤字となっている。 運賃設定について、デマンド交通を導入する際に岩手県紫波町のデマンド交通の運賃設定を参考にさせていただいた。現在、おいらバスの乗車1回につき500円、乗合乗車の場合は300円で利用いただいているが、正直この料金設定で運行して運行経費を賄うことは難しいと考えている。 そうかと言って、現行の運賃を引き上げすることは現時点では考えていない。
小向会長	おいらバスの収支状況は、経常赤字2,000万円のうち1,000万円が国に補助金が充てられていて、町が1,000万円程度の支出をして運行しているということで理解していいですね。
事務局（柏崎課長）	そうなります。

田中委員	事業評価においてアンケート調査の説明があったが、町では、町民バスやおいらバスの利用者（リピーターもなかにはいると思う。）が延べ人数ではなくて利用者実数としてどの程度いるのか把握しているのか？
事務局（柏崎課長）	先ほど追加資料において、町民バスとおいらバスの利用人数の実績をお示ししたが、延べ人数は把握しているものの、利用者実数としてはなかなか把握が難しい。
田中委員	利用者のニーズを把握するのであれば、その対象（利用者実数）がどの程度いて、その人たちが交通の利便性に対してどの部分に不満を持っているのか分析する必要がある。
事務局（柏崎課長）	<p>先ほど事業評価資料で説明したとおり、町民アンケートは、総合計画（後期基本計画）の策定過程において、2,000 人を無作為抽出してアンケートに答えていただいた結果を反映させているもので、その 2,000 人のなかには公共交通を利用されない方や町民バスなど町の公共交通ではなく、青い森鉄道の利便性など地域の公共交通全般に対する満足度を回答している場合も考えられる。</p> <p>そういった意味では、先ほど担当が説明で触れたように、町民バスやおいらバスの実際の利用者を対象として、どういったところに不満があるのかを具体的に把握するための調査をしていく必要があると考えている。</p>
<p>議題等 議事案件</p> <p>2) 令和 6 年度おいらせ町地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について</p> <p>⇒資料 P5 から P7 までにおいて、運行ダイヤの見直し、運行経路の見直し、運行経路の見直しに伴う運賃・料金の設定を踏まえた、地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について、事務局より説明がされた。</p> <p>《協議結果》</p> <p>原案のとおり承認決定した。</p>	
発言者	発言内容
加藤委員	<p>提案された見直し案（運行ダイヤ・運行経路）は、丁寧に練られたもので正直感心した。</p> <p>ただ、運行経路の変更に伴って、既存の停留所も一部変更になるようだ</p>

	が、実際の利用者が不便にならないかは少し心配するところである。
事務局（田中主幹）	<p>今回の見直しにあたっては、運行事業者とも慎重に打合せさせていただいて、まずは安全運行第一で考えさせていただいた。</p> <p>そのうえで、停留所が廃止になる場所や「間木」停留所のようにバスの通過回数が減るところについては、利用者に配慮して、代替の停留所を新設させていただくことで対応するつもりである。</p>
事務局（柏崎課長）	<p>実際に運行してみたら、利用者がこれまでの停留所が変わって不便になった（遠くなったなど）という声が出てくるかもしれない。その際には、また対応方法を検討させていただく。</p>
議題等 その他	
	委員及び事務局双方特になし

以上